

臨床研修の計画概要（見本）※この見本を参考にして、自施設独自のものを作成して下さい。

## I 一般目標 (General Instructional Objective : GIO)

(例) 初期臨床研修および後期臨床研修で身につけた・・・・・・、感染症専門医として必要な・・・・・・の能力を習得する。

## II 行動目標 (Specific Behavioral Objectives : SBOs)

感染症専門医に求められる専門的な臨床能力を身につけるために、以下にあげた行動目標を踏まえて研修を行う。

### 1. 感染症診断学

- (例) ① 感染症を起こす主要な病原微生物の種類、特徴、・・・・・・について・・・・・・。  
② 感染症診断のために必要な各種診断法の種類、特徴、・・・・・・について・・・・・・。示された結果の臨床的意義について・・・・・・。また、一部の診断法については自身で実施することができる。  
③ 感染症診断に関する各部門からのコンサルテーションに対して・・・・・・。  
④・・・・・・  
.

### 2. 感染症治療学

- (例) ① 抗菌薬の種類、特徴、・・・・・・について理解し説明することができる。  
② 抗真菌薬の種類、特徴、・・・・・・について理解し説明することができる。  
③ 抗ウイルス薬の種類、特徴、・・・・・・について理解し説明することができる。  
④ 感染症の補助療法について、その種類、特徴、・・・・・・を理解し説明することができる。  
⑤・・・・・・  
.

### 3. 感染症予防学

- (例) ① 感染症の予防方法について、その種類、特徴、・・・・・・を理解し、説明、実施することができる。  
② ワクチンの種類、特徴、・・・・・・について理解し説明することができる。  
③ 感染症に関連する法律を・・・・・・。  
④・・・・・・  
.

### 4. 感染制御・病院感染

- (例) ① 院内感染防止のための基本的対策について、・・・・・・を理解し、説明、実施することができる。  
② 院内サーベイランスの種類、実施方法、・・・・・・について理解し、説明、実施することができる。  
③ 感染制御・病院感染に関する各部門からのコンサルテーションに対して・・・・・・。  
④・・・・・・  
.

### 5. 臨床研修・基礎研修

(例) 研修期間中の3年間に、感染症に関する3回以上の学会発表と1編以上の論文執筆を行うことを原則とする。

### 6. 専門医資格の取得

(例) 研修終了後は、受験資格が整った段階で、感染症専門医研修中の臨床経験をもとに、日本感染症学会専門医認定試験を受験する。

## III 方 略

### 1. 研修期間

(例) 研修期間は3年間を原則とする。

### 2. 研修方法

- (例) ① 入院患者の主治医として、また週に少なくとも1回以上の一般外来診療を通じて、・・・・・・。  
② 感染制御チーム (ICT) の一員として、院内の感染症サーベイランス業務、・・・・・・等を指導医とともに行う。  
③ 微生物検査室において、微生物検査の基礎的知識、手技について・・・・・・。  
④ 院内外の研修コースを受講することにより、・・・・・・。  
⑤ 定期的に開催される感染症カンファレンス、感染症抄読会において・・・・・・。  
⑥ 感染症関連の学会において・・・・・・。  
⑦ 感染症関連の雑誌に論文を発表する。  
⑧ 週間または月間の研修スケジュール・・・・・・。  
.

## IV 評価方法

- (例) ① 研修記録等をもとに自己評価および指導医評価の形で形成的評価を行う。  
② 専門医研修1年次が終了した時点で研修内容を評価し、これを踏まえて2年次以降の研修計画を修正する。  
③・・・・・・  
.  
・ 感染症専門医認定試験の結果は総括的評価となる。

\*書ききれない場合は用紙を足して記載して下さい。